



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 ミアヘルサホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7129 URL <https://www.merhalsa-hd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 文恵
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・企画担当取締役 (氏名) 高橋 雅彦 (TEL) 03-3341-7205
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,475	△0.2	△26	—	△27	—	△39	—
2023年3月期第1四半期	5,488	—	△13	—	△22	—	△52	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △39百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △52百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△15.87	—
2023年3月期第1四半期	△20.92	—

(注) 当社は、2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,667	3,255	23.8
2023年3月期	14,135	3,337	23.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,255百万円 2023年3月期 3,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	13.00	—	17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△1.1	280	46.5	280	65.4	130	△38.0	52.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	2,488,700株	2023年3月期	2,488,700株
2024年3月期1Q	81株	2023年3月期	81株
2024年3月期1Q	2,488,619株	2023年3月期1Q	2,488,480株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、2023年8月9日(水)にTDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<https://www.merhalsa-hd.jp/ir/>)にも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2.
(1) 経営成績に関する説明	2.
(2) 財政状態に関する説明	3.
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3.
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4.
(1) 四半期連結貸借対照表	4.
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6.
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8.
(継続企業の前提に関する注記)	8.
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8.
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8.
(追加情報)	8.
(セグメント情報等)	9.
(収益認識関係)	10.
(重要な後発事象)	10.

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症へ移行等により、社会経済活動の正常化への動きがみられ、国内の消費活動は回復基調となりましたが、円安進行や長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・エネルギー価格の上昇等、先行きが不透明な状況が依然として続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする」をミッションに掲げ、経営計画の達成を目指してまいりました。

また、当社グループの従業員が健康で活き活きと働く職場環境づくりのために、労務コンプライアンス体制の強化と安全衛生のさらなる推進に努めてまいりました。

業績につきましては、2023年4月に開設した認可保育園3園の業績が寄与いたしました。前連結会計年度末に介護事業及び保育事業における不採算事業所の閉鎖を実施したことにより、売上高は概ね横ばいで推移いたしました。一方、損益面につきましては、医薬事業の薬価改定の影響に加え、介護事業における2023年8月開設の新規事業所「ホスピス対応型ホーム（定員61名）」の先行コストが生じたこと等により、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高5,475百万円（前年同期比0.2%減）、営業損失26百万円（前年同期実績：営業損失13百万円）、経常損失27百万円（前年同期実績：経常損失22百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円（前年同期実績：親会社株主に帰属する四半期純損失52百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①医薬事業

当第1四半期連結会計期間における処方箋枚数につきましては、既存店舗も回復傾向あり、前連結会計年度に出店した新規出店効果も併せて前年同期比104.1%となりました。

一方、処方箋単価につきましては、2023年4月に実施された薬価改定の影響により低下いたしました。高額医薬品の処方箋枚数が増加したことに加え、「かかりつけ薬局」としてのサービスの充実を強化し、調剤技術料の加算獲得に努めたことで、薬価改定の影響を最小限に留めることができました。

この結果、売上高2,236百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益102百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における調剤薬局店舗数は、42店舗（前連結会計年度末比±0店舗）となりました。

②介護事業

当第1四半期連結会計期間において、1事業所（訪問介護事業所）の開設を実施いたしました。また、不採算事業所5事業所（通所介護事業所4事業所、定期巡回事業所1事業所）の閉鎖準備を進めるため、5月末で休止しております。

業績につきましては、不採算事業所の閉鎖・休止を実施したことで、通所介護事業所等の利用者数が減少したことで減収となりました。また、2023年8月に千葉県流山市に開設した「ホスピス対応型ホーム（定員61名）」のサービス付き高齢者向け住宅1事業所及び併設事業所3事業所（居宅介護支援事業所1事業所、訪問介護事業所1事業所、訪問看護事業所1事業所）の開設に伴う先行コストが生じたことにより、利益面も低調で推移しました。

この結果、売上高798百万円（前年同期比10.5%減）、セグメント損失47百万円（前年同期実績：セグメント損失19百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における介護事業所数・施設数は、68事業所（前連結会計年度末比+1事業所）となりました。

③保育事業

当第1四半期連結会計期間において、認可保育園3園及び、学童クラブ1ヵ所を開設いたしました。

業績につきましては、2023年3月末に不採算であった東京都認証保育園等を閉園したことによる園児数の減少要因があるものの、2022年4月及び、2023年4月に開設した認可保育園の園児数が増加したことで業績に寄与いたしました。

この結果、売上高2,193百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益105百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における運営事業所数は、78事業所（前連結会計年度末比+4事業所）となりました。

④その他（食品事業）

学校給食部門において、物価の上昇を売価に反映することができました。一方、当社グループがフランチャイジーとして店舗展開している銀のさら（3店舗）の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症へ移行等の影響による宅配食ニーズの落込みにより減少いたしました。

この結果、売上高247百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益8百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、4,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が409百万円増加したものの、売掛金が465百万円、未収入金が347百万円減少したため、全体として減少しております。

固定資産は、8,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円減少いたしました。これは、有形固定資産が97百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、13,667百万円となり、前連結会計年度末に比べ468百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、6,425百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円減少いたしました。これは主に、未払費用が459百万円、契約負債が142百万円増加したものの、短期借入金が450百万円、賞与引当金が178百万円減少したため、全体として減少しております。

固定負債は、3,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が145百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、10,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ386百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、3,255百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が、配当金の支払いにより42百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円を計上したことにより減少したものであります。

この結果、自己資本比率は23.8%（前連結会計年度末は23.6%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました「2023年3月期決算短信」の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,265,326	1,675,268
売掛金	2,481,488	2,016,246
商品	349,080	417,920
貯蔵品	17,512	18,209
未収入金	487,393	139,853
その他	451,997	417,184
貸倒引当金	△2,885	△2,862
流動資産合計	5,049,912	4,681,820
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,208,415	5,130,184
構築物（純額）	101,246	99,011
工具、器具及び備品（純額）	375,795	355,418
土地	797,750	797,750
リース資産（純額）	256,591	251,037
建設仮勘定	25,058	33,577
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	6,764,858	6,666,979
無形固定資産		
借地権	204,360	204,360
ソフトウェア	27,113	46,731
のれん	278,840	262,916
その他	74	74
無形固定資産合計	510,389	514,083
投資その他の資産		
長期前払費用	124,231	110,952
繰延税金資産	6,656	6,656
差入保証金	1,034,869	1,053,975
投資不動産（純額）	179,549	177,050
その他	465,444	455,857
投資その他の資産合計	1,810,751	1,804,492
固定資産合計	9,085,998	8,985,555
資産合計	14,135,911	13,667,375

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,347,151	2,396,776
短期借入金	2,090,000	1,640,000
1年内償還予定の社債	31,000	31,000
1年内返済予定の長期借入金	616,932	603,288
リース債務	37,666	36,215
未払金	287,113	227,945
未払費用	558,886	1,018,092
未払法人税等	59,659	10,024
預り金	81,696	83,118
契約負債	12,805	155,236
資産除去債務	55,234	17,773
賞与引当金	367,002	188,831
事業所閉鎖損失引当金	4,461	-
その他	33,436	17,372
流動負債合計	6,583,046	6,425,674
固定負債		
社債	34,500	34,500
長期借入金	1,876,848	1,731,749
リース債務	295,129	286,933
繰延税金負債	740,597	721,371
資産除去債務	1,028,594	1,013,352
その他	239,463	197,848
固定負債合計	4,215,132	3,985,755
負債合計	10,798,179	10,411,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,620	300,620
資本剰余金	517,621	517,621
利益剰余金	2,519,493	2,437,691
自己株式	△100	△100
株主資本合計	3,337,635	3,255,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	112
その他の包括利益累計額合計	96	112
純資産合計	3,337,732	3,255,945
負債純資産合計	14,135,911	13,667,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,488,366	5,475,849
売上原価	5,027,013	5,051,369
売上総利益	461,353	424,479
販売費及び一般管理費	474,897	450,919
営業損失(△)	△13,544	△26,439
営業外収益		
受取利息	13	8
受取配当金	71	70
賃貸収入	16,837	16,579
補助金収入	686	882
その他	5,014	8,434
営業外収益合計	22,621	25,975
営業外費用		
支払利息	9,048	7,890
社債利息	114	71
賃貸原価	15,226	15,185
その他	7,382	3,485
営業外費用合計	31,771	26,633
経常損失(△)	△22,693	△27,097
特別損失		
固定資産除却損	-	0
閉鎖事業所関連費	-	2,491
過年度給与手当等	52,382	-
補助金返還損	-	19,085
特別損失合計	52,382	21,576
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,076	△48,673
法人税等	△23,017	△9,178
四半期純損失(△)	△52,059	△39,495
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△52,059	△39,495

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△52,059	△39,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	15
その他の包括利益合計	33	15
四半期包括利益	△52,025	△39,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52,025	△39,480
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結子会社の吸収合併)

当社及び当社の連結子会社であるミアヘルサ株式会社は、2023年2月14日開催の取締役会において、2024年4月1日を効力発生日として、ミアヘルサ株式会社が、同社の子会社であるライフサポート株式会社を吸収合併することを決議いたしました。

取引の概要

① 被結合企業の名称及びその事業の内容

被結合企業の名称 ライフサポート株式会社

事業の内容 保育園、学童保育施設、介護施設の運営等

② 企業結合日

2024年4月1日(予定)

③ 企業結合の法的形式

ミアヘルサ株式会社を存続会社とする吸収合併方式であり、ライフサポート株式会社を消滅会社といたします。

④ 結合後企業の名称

ミアヘルサ株式会社

⑤ 企業結合の目的

ライフサポート株式会社は、東京都内を中心に45か所の保育施設(認可・認証保育所、学童クラブ等)を運営する保育事業、及び高齢者住宅等を運営する介護事業を展開しておりますが、同社が単独で事業を進めるよりも、ミアヘルサ株式会社と事業を一体化することで、オペレーションの一元管理による管理機能の強化、及び経営の更なる効率化を図ることを通じて、企業価値の向上を目指すことが最善の選択と判断し、吸収合併することを決定いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬事業	介護事業	保育事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,174,757	892,042	2,177,795	5,244,595	243,770	5,488,366	—	5,488,366
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	6,237	6,237	△6,237	—
計	2,174,757	892,042	2,177,795	5,244,595	250,008	5,494,603	△6,237	5,488,366
セグメント利益 又は損失(△)	93,986	△19,475	97,807	172,319	16,644	188,964	△202,508	△13,544

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」の区分には、各報告セグメントに配分していない全社費用△202,508千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬事業	介護事業	保育事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,236,528	798,799	2,193,359	5,228,687	247,161	5,475,849	—	5,475,849
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	11,111	11,111	△11,111	—
計	2,236,528	798,799	2,193,359	5,228,687	258,273	5,486,960	△11,111	5,475,849
セグメント利益 又は損失(△)	102,903	△47,389	105,139	160,652	8,286	168,939	△195,378	△26,439

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」の区分には、各報告セグメントに配分していない全社費用△195,378千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

当社グループの売上高は、顧客との契約から生じる収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医薬事業	介護事業	保育事業	計		
保険調剤	2,163,378	—	—	2,163,378	—	2,163,378
介護保険サービス	—	561,175	—	561,175	—	561,175
高齢者住宅賃料・食事代等	—	204,141	—	204,141	—	204,141
認可保育園	—	—	1,622,424	1,622,424	—	1,622,424
その他	11,379	126,726	555,370	693,476	243,770	937,247
外部顧客への売上高	2,174,757	892,042	2,177,795	5,244,595	243,770	5,488,366

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医薬事業	介護事業	保育事業	計		
保険調剤	2,225,253	—	—	2,225,253	—	2,225,253
介護保険サービス	—	479,335	—	479,335	—	479,335
高齢者住宅賃料・食事代等	—	198,917	—	198,917	—	198,917
認可保育園	—	—	1,692,178	1,692,178	—	1,692,178
その他	11,275	120,545	501,181	633,002	247,161	880,164
外部顧客への売上高	2,236,528	798,799	2,193,359	5,228,687	247,161	5,475,849

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業を含んでおります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。